

PRESS RELEASE

2015年1月30日
株式会社三菱総合研究所

2014年10-12月期 GDP 1次速報予測

株式会社三菱総合研究所（代表取締役社長 大森京太 東京都千代田区永田町二丁目10番3号）は、内閣府より2月16日（月）に公表予定の2014年10-12月期のGDP速報（1次QE）について予測を行った。

2014年10-12月期	実質GDP	季節調整済前期比	+0.5%	（年率 +1.9%）
	名目GDP	季節調整済前期比	+1.0%	（年率 +4.1%）

2014年10-12月期の実質GDPは、季節調整済前期比+0.5%（年率+1.9%）と3四半期ぶりのプラス成長を予測する。内需が持ち直しの動きをみせるなか、輸出増も追い風となり、景気は緩やかに回復している。

消費は、増税後の反動が和らぎつつあり、2四半期連続の増加を見込む。耐久消費財の不振は続くものの、夏場の天候不順要因の剥落もあり、食品やレジャーなどを中心に持ち直しの動きが広がった。設備投資は、円安や原油安による企業収益の回復などを背景に、3四半期ぶりの増加を予想する。公的固定資本形成は3四半期連続の増加を見込む。一方、住宅投資は、増税後の低調な需要を映じて3四半期連続の減少となろう。在庫投資は、需要回復による在庫減少が進んだとみられ、2四半期連続のマイナス寄与を見込む。

輸出は、米国向けの回復などから2四半期連続の増加を見込む。輸入も、内需の持ち直しを背景に2四半期連続の増加を予想する。

表 2014年10-12月期 GDP速報 予測結果

単位：断りがない限り 季調済前期比（%）		2014年			
		1-3月期 実績	4-6月期 実績	7-9月期 実績	10-12月期 予測
実質GDP		1.4	▲1.7	▲0.5	0.5
	季調済前期比年率	(5.8)	(▲6.7)	(▲1.9)	(1.9)
民間最終消費		2.2	▲5.1	0.4	0.7
民間住宅投資		2.3	▲10.0	▲6.8	▲2.1
民間企業設備投資		6.2	▲4.7	▲0.4	1.7
民間在庫	寄与度	▲0.4	1.3	▲0.6	▲0.3
政府最終消費		▲0.3	0.3	0.3	0.4
公的固定資本形成		▲2.7	0.9	1.4	1.0
財・サービス輸出		6.4	▲0.5	1.3	2.8
財・サービス輸入		6.2	▲5.4	0.7	2.5
内需	寄与度	1.6	▲2.8	▲0.5	0.4
民需	寄与度	1.8	▲2.9	▲0.7	0.3
公需	寄与度	▲0.2	0.1	0.1	0.1
外需	寄与度	▲0.2	1.0	0.1	0.1
名目GDP		1.3	0.1	▲0.9	1.0
	季調済前期比年率	(5.5)	(0.4)	(▲3.5)	(4.1)
GDPデフレーター	前年同期比	0.1	2.1	2.0	1.9
国内需要デフレーター	前年同期比	0.8	2.5	2.4	1.7

注：既発表の実績値についても季節調整等に伴う遡及改定が行われる。
表中の実績値は、2014年7-9月期2次QEに基づく。シャド一部分が今回の予測値。
資料：実績は内閣府「国民経済計算」、予測は三菱総合研究所。

＜本件に関するお問合せ先＞

株式会社 三菱総合研究所 〒100-8141 東京都千代田区永田町二丁目10番3号
政策・経済研究センター 森重彰浩 電話：03-6705-6087 FAX：03-5157-2161 E-mail：morisige@mri.co.jp
広報部 峰尾 電話：03-6705-6000 FAX：03-5157-2169 E-mail：media@mri.co.jp
尚、本資料は、内閣府記者クラブに配布致します。